

# 障害があっても安心して暮らせる地域づくりをめざして

～ 平成29年度における県の重点取組 ～



宮城県保健福祉部  
障害福祉課



## 【重点取組1】 地域生活移行のための環境整備

▽ 日常生活の場の確保と地域におけるセーフティネット機能の整備を並行的に推進

### 【地域の生活環境の整備促進】

① **グループホームの整備促進**  
(重度障害者向けGHを重点整備)



【相談・地域の体制づくり】



相談支援事業所

### 【地域の“センター機能”拡充】

**老朽化した「船形コロニー」の再整備**

- ① セーフティネット機能 (地域生活が困難な方の受入等)
- ② バックアップ機能 (状態悪化の際の緊急入所)
- ③ コーディネート機能 (人材育成・専門研修)

③ **医療的ケア等体制の整備**

日常的な医療行為を要する  
障害者等の支援ニーズに対応

【緊急受入】



短期入所



医療型短期入所

② **「地域生活支援拠点等」の整備促進**

圏域毎に地域生活継続のための  
ネットワークを整備

【専門性】



障害者支援施設

【体験の機会・場】



障害福祉サービス事業所

【民間との協働】  
【在宅支援の強化】



船形コロニー「おおくら園」(S49建築)



## 【重点取組2】 精神障害等ケアの提供体制整備

▽ 精神障害者に対する通院等医療費の負担，精神科救急医療体制の整備に加え，自死対策やひきこもりケアなど，心の健康づくりに向けた施策を総合的に推進



## 【重点取組3】 就労の促進・工賃向上

▽ 障害福祉課では，一般企業での雇用が難しい障害者の就労等支援を主に担当  
（※一般企業における障害者雇用対策は雇用対策課が所管）

→ 普及啓発，就労支援施設の競争力強化等を通じた障害者の工賃向上を推進

県の主な工賃向上等取組

事業所の経営指導

展示販売会の開催

共同受注体制の整備

職域の拡大（農福連携）

左記に加え，企業と就労支援施設との連携強化を通じた雇用の安定化に取り組む（H29新規）

NPOみやぎセルフ協働受注センターに委託（会員数102）

H29年度で平均工賃月額23,000円が当面の目標

工賃向上計画の策定

年度	就労B・工賃総額(億円)	就労B・平均工賃月額(円)
H23	5.4	15,066
H24	5.6	17,173
H25	6.2	16,989
H26	7.3	18,186
H27	7.9	18,643

復興へ頑張ろう！みやぎ

## 取組④ 発達障害支援の体制整備

- ▽ 県の発達障害者支援センター「えくぼ」を中核機関として、各ライフステージに対応した総合的支援・支援者等への人材育成等を実施
- 今後は、社会資源が乏しい地域でも早期の発見・療育が可能な仕組みづくりにも注力

本県の発達障害者支援体制イメージ



## 【重点取組5】 継続的な被災者の心のケア

- ▽ 仮設住宅での生活長期化や復興の進捗に伴う社会・生活環境の変化など、震災から6年が経過し、被災者の「心の問題」は多様化・複合化
- 国の事業計画期間満了後(H33以降)も継続的な心のケアが求められるが、中長期的な財源措置や、これを踏まえた専門職の派遣体制の検討等にあたる必要あり

被災者の心のケアと支援拠点

